

北海道の花づくり、野菜づくりのために



地方独立行政法人 北海道立総合研究機構

農業研究本部

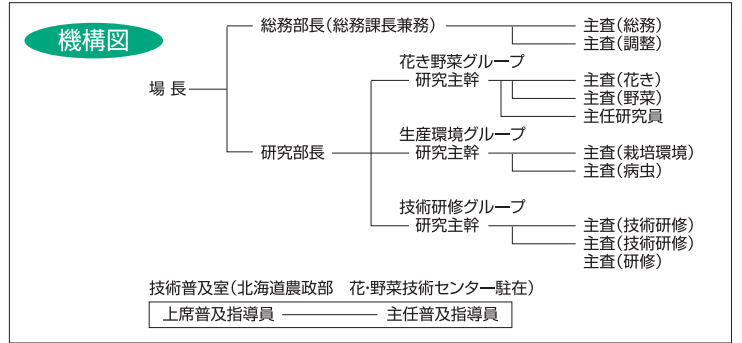
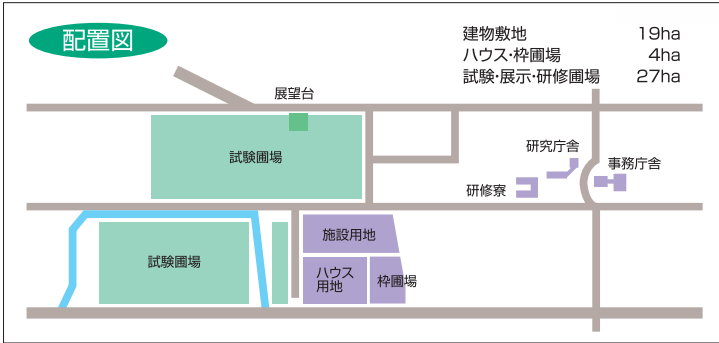
花・野菜技術センター

広大な大地のもと気象条件を活かしたクリーンな北海道農業  
一年を通し、湿度が低く、寒暖差の大きい気候は、  
おいしさを高め、彩りを鮮やかにする  
花・野菜技術センターは色鮮やかな北の花づくり、  
安全で品質の高い北の野菜づくりを支援します



- 新品種、新作型の開発や栽培法の改善に取り組む
- 生産阻害要因の解明や安定生産技術の開発を行う
- 高品質生産技術や流通技術の改善に取り組む

- 農業者や技術指導者などのため、花・野菜の技術研修を行う
- 農業改良普及センターなどと協力し、地域農業への技術支援を行う



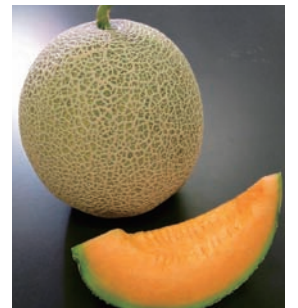
## 最近の主な成果

- 花き**
- シネンシス系スターチスの高品質栽培技術
  - カーネーションの2年切り栽培法
  - トルコギキョウ秋切り作型における品質向上対策
  - 花ゆりの新品種「きたきらり」、「ピカリ」、「きらりゴールド」、「きらりレモン」、「きらりマジック」の育成
  - バラ、トルコギキョウ、デルフィニウムの湿式輸送技術
  - デルフィニウムの秋切り栽培における電照技術
  - ばらの夏秋期における高品質栽培技術
  - グランドカバープランツ、みなづき、花壇苗に関する技術
  - スターチス・シヌアータの灰色かび病被害軽減のための栽培法改善



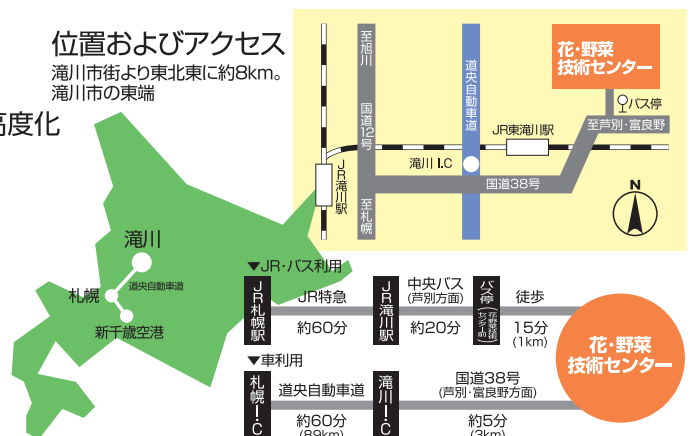
花ゆりの新品種

- 野菜**
- メロン新品種「FG14」(緑肉)、「ゆめてまり」(赤肉)の育成
  - メロンえそ斑点病抵抗性品種「北かれん」(赤肉)の育成
  - メロン土壌病害抵抗性台木新品種「どうだい4号」、「どうだい6号」の育成
  - 夏秋どりいちご新品種「なつじろう」の育成
  - 野菜の品種特性(アスパラガス、スイートコーン、かぼちゃ、にんじん)
  - 摘房と側枝葉利用によるミニトマトの秋期安定生産技術
  - 短節間かぼちゃ「TC2A」(ほっとけ栗たん)の栽培指針
  - 春掘りにんじんの品質特性と栽培法
  - アスパラガス調製残渣の機能性成分を活用した加工食品の開発
  - 土壌還元消毒後のトマト栽培における施肥指針
  - 雪氷を活用した根菜類に対する鮮度保持・貯蔵技術
  - 非破壊手法によるかぼちゃの品質評価
  - にんじん栽培における化学肥料・化学合成農薬削減技術の高度化
  - トマト褐色根腐病の多発要因解明および総合防除対策
  - 高接ぎ木法によるトマト青枯病の耕種的防除対策の強化
  - 野菜の新規導入指針、産地の振興方法



メロン「北かれん」

位置およびアクセス  
滝川市街より東北東に約8km。  
滝川市の東端



所在地と連絡先

〒073-0026 北海道滝川市東滝川735番地  
Tel.0125-28-2800 Fax.0125-28-2299  
<http://www.agri.hro.or.jp.hanayasai/index.html>

花・野菜技術センター

# 花・野菜技術センターのしごと

## 花き野菜グループ

### 花き

限りない花の美を求めて  
—より鮮やかに、うるわしく—

それぞれの花の持つ本来の美しさを理解し、北海道の自然条件のもと、その魅力を最大限に引き出せるよう、草花(一、二年草、宿根草)、球根類、花木類などそれぞれの分野で品種の特性を調査し、道内向けの品種の評価や栽培技術の改善などを進めています。

#### ▼主な研究課題

- 宿根かすみそうの新品種に対応した高収益栽培体系の確立
- 初夏どり枝物花き(スノーボール、テマリシモツケ)の栽培体系の確立
- 花持ち保証に対応した切り花品質管理技術の開発(スプレーカーネーション)
- 輪ぎくの秋期出荷作型における安定栽培技術の開発
- 地中熱交換システムを活用した省エネルギー施設園芸技術の評価



### 野菜

豊かな味わいを極める  
—よりおいしく、より安全に—

北海道の恵まれた自然環境を活かした高品質で安全な野菜を安定生産するために、病害虫に強い品種の開発や品質の安定化、低コスト生産や栽培の省力化などを目指しています。

#### ▼主な研究課題

- いちご多収春どり新品種の育成および疫病抵抗性素材の作出
- 赤肉メロン品種の耐病性強化
- 北海道向け民間育成メロン品種の特性調査
- トマトの秋期安定生産に向けた3段密植栽培技術の開発
- たまねぎ有機栽培用培土の利用技術の実証・普及
- カボチャの国内産端境期供給を目指した安定生産技術の開発



## 生産環境グループ

### 栽培環境

花・野菜を高品質・安定生産  
—生き活きとしたまま皆様の食卓へ—

高品質な農産物の安定生産を目指した土壌診断や施肥管理、寒冷地の自然環境を活かした貯蔵や流通に関する技術の開発を行っています。

#### ▼主な研究課題

- リン酸施肥削減のための有機物中リン酸評価法および局所施肥法の開発
- ハウス窒素肥沃度の総合的評価による道産野菜の硝酸塩低減化技術の開発
- 北海道におけるさつまいも導入に向けた品種特性評価・栽培技術の開発
- 施設土壌の養分過剰を軽減するための堆肥施用指針の策定
- 野菜の品質評価と貯蔵技術の開発(メロン・かぼちゃ等)

### 病虫

病害虫の総合防除  
—農薬だけに頼らない花・野菜づくり—

野菜・花き類に発生する病害虫への対策試験を進めるとともに、農薬だけに頼らない総合的な防除技術の開発による人と作物と自然に優しいクリーンな農業の実現を目指しています。

#### ▼主な研究課題

- 採苗施設と水田転換畑を利用したいちごの自立型新採苗方式の確立
- たまねぎ突発性病害の灰色腐敗病およびべと病に対する効率的防除体系確立
- すいかの炭疽病防除対策の確立
- アスパラガスのツマグロアオカスミカメに対する総合防除対策
- 病害虫の診断および発生予測

## 技術研修グループ

### 1. 研修

本道の花・野菜の一層の振興を図るため、本センターの有する花き・野菜に関する技術拠点としての機能を活用して、農業者や技術指導者などの方々を対象とする研修を実施しています。

### 2. 技術支援活動

各試験場の地域支援グループ等と連携して、農業改良普及センターなどと協力し、地域農業現場の実態に即した技術支援を行います。

#### ▼技術研修の概要

種類	内容
専門技術研修	研究員などが個別指導する「地域課題の解決」や「新たな技術の習得」等を支援するための技術研修
総合技術研修	半年間のカリキュラムに基づく講義・実習・視察をとおして花・野菜に関する基礎理論から実践技術の習得を図るための技術研修
基礎技術研修 (ベーシックセミナー)	新規参入者やUターン就農者等を対象とする花き・野菜栽培の基礎知識を習得する短期間セミナー
課題解決研修	農試が開発した新品種・新技術の普及定着や地域課題解決のための支援セミナー等
市民セミナー	消費者の方々に花と野菜に対する理解を深めていただくためのセミナー等



## 技術普及室(北海道農政部 花・野菜技術センター駐在)

- 花・野菜に関する普及センターへの支援、調査研究を実施する。
- 技術研修グループと連携し、地域農業技術の振興支援を行う。
- 普及指導員に対する研修を実施する。
- 研究の課題化や試験設計等に関する支援を行う。
- 農業技術情報を普及センターや地域へ提供する。